

## レンドリース・ジャパン株式会社は六本木へ本社を移転しました

(2018年4月19日東京)--レンドリース・ジャパン株式会社は、2018年3月12日(月)に、本社を東京都港区六本木に移転しました。

当社は、建設・通信・環境にかかわるプロジェクトで、コンストラクション・マネジメント(PM/CM)などの多様なマネジメントサービスを主に提供してきました。事業の多様化に伴い、段階的に執務スペースを増やした結果、入居していたビルの2フロア(3階・4階)に分散して業務を行う状況が生まれ、社員間のコミュニケーション不足が社内の大きな課題となっていました。また、働き方改革を推進するなかで、固定席の空席が目立ち、執務スペースの有効活用も課題としてありました。

以上のことから、より現状にあった執務空間を検討する社内タスクフォースが立ち上がりました。社内アンケート、在席率・会議室利用率調査を実施し、最適な執務スペース面積の算出、移転と残留案の比較等を行いながら、LEED-CS V3を取得した環境配慮型の移転先を選定しました。

新しいオフィスを設計するにあたっては、次の4つをキーワードに掲げました。

**TEAM BASED WORKING** - タスクフォース的にプロジェクトチームが立ち上がるという業務の性質上、チームがアメーバのようにその形を変え、よりそのつながりを深められる環境づくり。

**HEALTH AND WELLBEING** - 一つの固定席で長時間のデスクワークをすることは生活習慣病や死亡リスクを高めるといわれている中、ハイカウンターテーブルやデスクを各所に配置することにより、より社員が健康を意識する環境づくり。

**WORKPLACE FLEXIBILITY** - 執務エリアを全席フリーアドレス化し、執務環境(コワーキングエリア・フォーカスエリア・デスクトップエリア)を選ぶことのできる、そして働き方改革を後押ししながらも、毎日違う部門・部署の社員とコミュニケーションを図り、新しい会話が生まれる環境づくり。

**TECHNOLOGY** - ハード面では電源供給ポイントを増やし、社内のどこからでもWi-Fiに接続できる環境、そしてソフト面ではoffice365の導入など、一つの働く場所にこだわらずに共同作業ができる環境づくり。

また、社内のペーパーレス化も進め、移転後は文書等を保管するキャビネット数を以前に比べて9割削減、会議室面積や執務デスクは3割削減し、オフィス面積を以前より約4割削減しました。

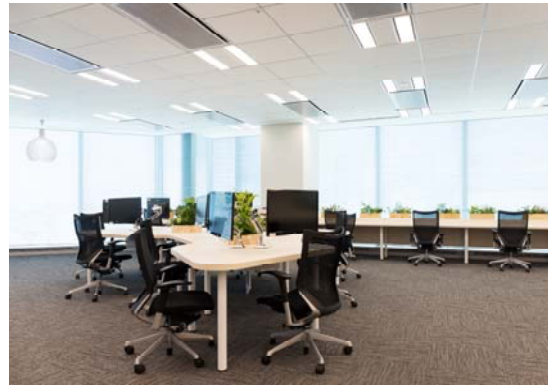
オフィス面積を削減しながらも、以上のキーワードを大切に、社員の一体感を生み出すレイアウトと、柔軟性と機動性が高く、社員の健康に配慮したオフィスとなりました。

### ■新オフィス概要

移転日 : 2018年3月12日(月)  
新住所 : 〒106-0032 東京都港区六本木7丁目7番7号  
TRI-SEVEN ROPPONGI 7階  
TEL : 03-5414-1870(代表)  
オフィス面積 : 約209坪



多目的スペース通称「ネスト」



執務デスク通称「アメーバ」&カウンターデスク



ボードルーム「Tokyo」



打ち合わせスペース通称「ヤタイ」

詳細については、以下担当者にお問い合わせください。

青根 静  
マネジャー  
コーポレート・アフェア  
080-3578-3971  
[shizuka.aone@lendlease.com](mailto:shizuka.aone@lendlease.com)

平林 千洋  
コーポレート・アフェア  
080-3578-4603  
[chihiro.hirabayashi@lendlease.com](mailto:chihiro.hirabayashi@lendlease.com)

#### About Lendlease:

レンドリースは、オーストラリア、アジア、ヨーロッパ、アメリカにおいて不動産とインフラストラクチャービジネスを展開するグローバル企業です。当社のビジョンは” TO CREATE THE BEST PLACES”, 世界中の人々の生活を刺激し豊かにする場所を創ることです。

オーストラリア・シドニーに本社を置き、オーストラリア証券取引所に上場、世界で約 12,350 人の社員を擁する企業です。

当社の強みは、不動産開発、建設そして投資の事業セグメントに表れています。この 3 つのセグメントのコンビネーションが持続可能な競争力を生み、お客様へ革新的なソリューションの提供を可能にしています。

[www.lendlease.com](http://www.lendlease.com)

